

平成26年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

自主・自律・貢献の精神を涵養し、グローバル社会の変化に主体的に対応して、納得して自らの人生を形成できる活力溢れる人材を育成する。

1. 変化する社会を自分の視点で捉え直し、考えが異なる相手にも論理的に意見を主張し、共通の合意を見出すコミュニケーション能力を育成する。
2. 自己実現を図る進路目標の設定と希望進路の実現必達を支援する。
3. 学校行事や部活動等の幅広い体験を通して、知・徳・体の調和のとれた人格を陶冶する。

2 中期的目標

1 「授業で勝負」の理念で、学力向上の取り組み推進

(1) 学力向上を促す教員の授業力改善・授業充実に取り組む。

ア 生徒の成功体験を積み上げることによる学習意欲の向上、協同作業やグループ討論を通じたアクティブ・ラーニングの確立。

イ ICT活用等も含めた魅力ある授業づくりを通し、全教科で「わかる授業」を展開する。

(2) 新学習指導要領を踏まえた、基礎学力定着と発展的学力（思考力・判断力・表現力）育成を図る。

ア 家庭学習指導、個別指導・小テストの充実により主体的な学習習慣を定着させ、土曜講習や少人数展開授業等の学習機会提供により、基礎知識・技能の習得を図る。

イ 総合的な学習の時間やHRの時間、学校行事等を活用して論理的思考力、自己の意見を主張する積極的態度（表現力）を育成する。

* 学校教育自己診断において、授業の理解度・満足度ともに、平成27年度までに85%をめざす。(25年度：理解度70%・満足度52%)

* 授業評価アンケートの自学自習項目の肯定率：平成27年度までに3.0ポイント（満点4.0）をめざす。(25年度2.56ポイント)

2 「志」の育成と全員の希望進路実現

学習のモチベーションアップに繋がる「志」を育成し、目標に対して安易な妥協をさせない進路指導体制の充実に図る。

(1) 総合的な学習やHR活動を通じて、キャリア・ガイダンスを充実させる。

また、「志学」の中核的部分として、高大連携や社会人連携プログラムの充実に図る。

(2) 知的好奇心・関心の育成する。 — 「大阪大学基礎セミナー」などの推進

(3) 進路指導年間計画の充実と、豊富な進路指導情報の提供。

* 学校教育自己診断における、進路関係項目の肯定率を平成27年度までに90%をめざす。(25年度平均80%)

* 平成27年度までに、3年生の国立大学受験者60%以上、合格者30%以上をめざす。(25年度受験者52%、合格者21%)

3 総合的な「人間力」育成

(1) 基本的生活習慣と規律規範意識を確立させる。

(2) 学習と部活・学校行事を両立させる生徒を育成する。

(3) 教育相談体制・活動を充実させる。

(4) グローバル化に応じた国際理解教育の推進、実践的英語力の向上を図る。

(5) 読書指導強化、図書館利用を促進する。

* 年間遅刻者数を平成27年度までに、2000人以下をめざす。(25年度2893人)

* 学校教育自己診断における、教育相談項目の肯定率を平成27年度までに70%まで上昇させる。(25年度62%)

4 本校教育に対する理解を獲得する①学校施設の改修・整備推進、及び②情報発信・広報活動の充実

(1) 生徒・保護者要望を入れた具体的な設備改修計画の策定とその実施。

(2) 学校HPの発信頻度アップ、学校パンフレット改訂等、広報の内容充実を図る。

(3) 学校説明会、体験入学、学校外での説明会、中学校訪問等の実施内容を充実させる。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成26年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校へ行くのが楽しい」生徒は86%で、水準に問題ない。 ・授業に関する6つの質問の肯定率は過去3年で顕著な改善を示す。例)「授業はよく理解できる」67%→70%→75%。「授業に積極的に取り組み学習に集中している」47%→52%→74%。「教え方に工夫をしている先生が多い」50%→58%→69%。但し「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」が32%→43%→47%と改善しつつも水準は不十分であり、アクティブ・ラーニングを進める余地あり。 ・「勉強と部活動の両立ができていく」が60%（前年59%）で、水準として不十分。自習をして臨まざるをえない授業づくり研究が課題。 ・「HRなどで将来の進路や生き方について考える機会がある」83%、「進路についての情報をよく知らせてくれる」84%と、進路指導には満足感あり。 ・「学校長の考えや話は、興味深くよくわかる」は42%→70%→76%と年々増加。 ・「1ヶ月の読書量2冊以上」の肯定率は25%、活字離れが大きな課題。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・88%の保護者が「子供は学校が楽しいと言っている」と回答。 ・施設・設備の面での満足度が39%と極めて低い。本年度は体育館トイレの改修及び4教室に空調を設置したが、設備改善は継続的な本校の課題。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報機器が教科の授業などで活用されている」90%、「他の教員の授業を見学する機会がよくある」94%と、ICT機器の活用が浸透し、授業力向上プロジェクトの取り組みは成功している。一方「指導内容を他の教科と話し合う機会がよくある」は34%と低い。教科横断で授業改善に取り組む組織づくりの検討が課題。 ・校長の教育理念明確化86%、校長のリーダーシップ発揮87%と、学校運営面は安定した水準を維持。 	<p>【第1回（平成26年7月11日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアガイダンスについて ・進学指導はよくできている。キャリアガイダンス等を行う際、講師選出等で協力したい。 ○設備改修について ・保護者の要望に対応した施設・設備改修に関して、後援会として資金面を含めて協力したい。 ○授業力向上について ・教員の授業力向上を他校の視察を含めて推進してもらいたい。 ○読書について ・若者の文書読解力が落ちている。「池田高校の100冊」を活用して読解力を鍛えてほしい。朝読書の推進なども検討してほしい。 <p>【第2回（平成26年11月21日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○池田高校の新しい取り組みについて ・卒業生に協力してもらおう「チューター制度」は意義が大きい。今後、生徒が生徒を教える取り組みや「反転授業」について検討してほしい。 ○英語力について ・生徒同士が英語で話し合う（アウトプット）する機会を増やす授業を徹底してほしい。 ○職業適性について ・志望動機が言えなかったり、自分の適性がわかっていない生徒にならないように、高校3年間で自分の適性を考える機会を与えてほしい。 <p>【第3回（平成27年1月26日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業教材について ・ICT用教材を多くの教員が自前で作成しているようなので、教員全体で共有できるシステムをつくり、将来の「反転授業」につなげるような取り組みをしてほしい。 ○国際交流について ・昨今の時世を勘案し、海外語学研修の際のセキュリティには十分な配慮をしてほしい。 ○国語力について ・英語のコミュニケーション力は大切だが、漢字の読み書きを含め、若者の国語力の低下を感じている。文章作成や発表などアウトプットの機会を増やしなが、国語力を鍛練してほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学力向上の取組推進</p>	<p>(1) 教員の授業力改善・授業充実 ア 協同作業やグループ討論を通じたアクティブ・ラーニングの確立</p> <p>イ ICT活用等による魅力ある授業づくり、全教科で「わかる授業」展開</p> <p>(2) 基礎学力定着と発展的学力（思考力・判断力・表現力）育成 ア 家庭学習指導等の充実による学習習慣の定着。土曜講習等の学習機会提供による基礎知識・技能の習得</p> <p>イ 総合学習の時間やHRの時間等を活用した論理的思考力、自己の意見を主張する態度の育成</p>	<p>【授業改善に向けた活動の展開】</p> <p>① 授業力改善チーム（学力向上チーム）を立上げ、多くの教員の参加による「授業改善」に向けた活動を展開。（パッケージ研修支援活用予定）</p> <p>② 教員間の授業相互見学推進。</p> <p>③ 生徒の授業への参画意識を促進する指導の工夫・改善。</p> <p>④ 1学期末と2学期末に実施する授業評価に課題がある教員は授業改善シートを活用し改善に努める。</p> <p>【教員のICT活用能力の向上】</p> <p>① ICT利用教員の増加及びICT利用頻度アップを図る。</p> <p>② ICTを利用しやすい環境の整備。</p> <p>【基礎学力定着・発展的学力の育成】</p> <p>① 定期的な家庭学習量調査により、家庭学習量の適正化を図る。</p> <p>② 定期考査、小テスト、学習生活実態調査、模擬試験の結果等を学年及び教科が共有して学習指導を効果的に推進する。</p> <p>③ 1、2年生において平素授業態度、宿題提出状況、小テスト結果等を保護者向けに通知（保護者懇談会）。</p> <p>④ 土曜講習の実施、教育産業を活用した土曜ゼミの充実を図り、年間を通じた計画的補習を実施する。</p> <p>⑤ 英数の少人数授業の充実、習熟度別展開による効果アップを図る。</p> <p>⑥ 自己学習時間をアップさせる。（1年：1.5時間、2年：2時間目処）</p> <p>⑦ 自習室の活用を推進、平日の夜間（放課後～19:30）土曜日（9:00～16:30）に開室する。</p> <p>【論理的思考力・表現力育成】</p> <p>① 論理的思考を学ばせる教材を活用、筋道が通った伝え方、小論文の作成力等を習得させる。</p>	<p>【授業改善にむけた活動の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケートの授業の「興味・関心」や「理解度」項目の目標：平均3ポイント（以下P）以上（4P満点） 2回目の授業評価で、授業理解度項目3P以上の教員数60%以上 教員相互の授業見学回数平均2回以上。 <p>【教員のICT活用能力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員ICT調査を実施、活用教員数目標50%以上 <p>【基礎学力定着・発展的学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断における授業理解度項目肯定率：80%以上 授業満足度項目肯定率：80%以上 授業評価アンケート自学自習項目2.8P以上（前年2.56P） 学校の土曜講習・ゼミへの出席者目標：2年、3年各100名 自宅学習時間を前年比増加させる <p>【論理的思考力・表現力育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生全員に作成指導のうえ、小論文を提出を義務付け（JICAエッセイコンテストに全員応募） 	<p>【授業改善にむけた活動の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート：3.01P。授業理解度項目3P以上の教員数62%（前年52%） 学校教育自己診断（生徒）アンケートで授業関連6項目が過去3年間で顕著な改善（◎） 2回以上の教員相互授業見学は2学期までに全員完了。8割以上の教員が参考になったポイントを管理職に書面で報告（○） <p>【教員のICT活用能力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT推進チームがICTの使い方等相談にのれる体制を作り、ICT活用教員数は57%まで上昇（◎） <p>【基礎学力定着・発展的学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解度肯定率75%（昨年度70%） 満足度肯定率74%（昨年度52%） 昨年比改善するが80%目標は未達（△） 自学自習については、自習する環境を整備するも、生徒の自習に関する肯定率は（教科でばらつきあり）全体で2.59Pと改善が見えない。（△） 土曜講習は内容の精選・充実により出席2年：300名 3年：120名（◎） 自宅学習時間は1年2年共に改善せず1時間（△） 自習室のチューター制度（卒業生による自習支援）開始（○） <p>【論理的思考力・表現力育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の新規取組として、表現カトレーニング実施後に、JICAエッセイコンテストに1年生全員応募（○）
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「志」の育成と全員の希望進路実現</p>	<p>(1) キャリアガイダンスの充実</p> <p>(2) 知的好奇心・関心の育成・向上を図る</p>	<p>【キャリアガイダンスの充実を図る】</p> <p>① 適切な進路指導の推進を図る。1年総合学習、2・3年LHRにおいて、大学見学会、学部学科説明会、大学説明会、社会人講話、教育実習生との懇談会等を実施。（1年20時間、2、3年8時間）</p> <p>② 国公立志向の進路希望・意欲の持続を図るとともに難関大学に挑戦する生徒を増やす。</p> <p>③ 3年生の進路実現のための特別講習の充実。</p> <p>【知的好奇心・関心の育成・向上を図る】</p> <p>① 学力生活実態調査及び校内模試の実施。</p> <p>② 阪大基礎セミナーの受講促進。</p> <p>③ 学校長による新入生向け講話（ガイダンス）実施、学習意欲・方法に関する示唆を与える。</p>	<p>【キャリアガイダンスの充実を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> センター試験における国公立型受験者55%以上、合格者23%以上目標 学校教育自己診断における進路関係項目の生徒肯定率80%以上 学校教育自己診断における「進路に関する情報提供」に対する保護者の肯定率80%以上 <p>【知的好奇心・関心の育成・向上を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内模試参加者数の増加 大阪大学基礎セミナー受講者7名以上

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総合的な「人間力」育成</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立と、規律規範意識の向上を図る</p> <p>(2) 教育相談の充実を図る</p> <p>(3) 部活動の活性化と充実を図る</p> <p>(4) 国際理解教育の推進</p> <p>(5) 読書指導強化</p>	<p>【基本的な生活習慣・規範意識の向上】</p> <p>① 遅刻指導の取り組み。 登校指導週間の実施や早朝指導等を行い、遅刻数の減少をめざす。</p> <p>② 挨拶励行の取り組み。 毎朝の校門指導。全教員で取り組み、特に担任・部顧問による指導を強化する。</p> <p>③ 校内美化の推進。</p> <p>④ 通学マナーの向上、事故の減少に取り組む。</p> <p>⑤ 近隣地域と連携して、清掃活動に取り組む。</p> <p>【教育相談活動の充実】</p> <p>① HP等を活用し、教育相談体制やスクールカウンセラー相談日を周知徹底する。</p> <p>② 教育相談委員会を年間15回実施、情報の共有化。</p> <p>③ 各学年とも、各学期に2回(3学期1回)の定期連絡会を実施する。</p> <p>【部活動の充実】</p> <p>① トレーニング場の機器整備と指導者の拡充。</p> <p>【国際理解教育】</p> <p>① オーストラリア語学研修生派遣体制強化。</p> <p>② 1年生対象に国際理解教養講座を導入実施。</p> <p>③ ALTとの英会話ランチミーティング実施。</p> <p>【読書指導強化】</p> <p>学校推薦図書設定。図書館利用推進。</p>	<p>【基本的な生活習慣・規範意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間遅刻件数目標：2000件以下 学校教育自己診断の教員の生活指導関係項目肯定率75% 日々の清掃に加え、年間10回の特別清掃を実施 地域と連携した清掃活動を5回以上設定 <p>【教育相談活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断における、教育相談関係項目の肯定率目標：生徒、保護者共65%以上 <p>【部活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率目標85%以上 毎年団体又は個人で近畿大会以上の出場を果たす 学校教育自己診断における「勉強と部活の両立」の肯定率：生徒および保護者各70%以上 <p>【国際理解教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 語学研修生派遣人数目標40名以上 語学研修実施後のアンケート肯定的回答目標90%以上 <p>【読書指導強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書貸出冊数前年比増加 	<p>【基本的な生活習慣・規範意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間遅刻件数3389件(△) 教員の生活指導関係項目肯定率77.5%(○) 特別清掃13回実施(○) 地域連携落ち葉ひろい3回実施(△) <p>【教育相談活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談関係項目の肯定率は生徒46%、保護者41%と目標未達。(△) <p>【部活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率95%(◎) 近畿大会出場 男子バレー・硬式テニス部・将棋部(囲碁部門) 全国大会出場将棋部(囲碁部門)・スキー同好会(◎) 「勉強と部活の両立」の肯定率 生徒60% 保護者61%と未達(△) <p>【国際理解教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> オーストラリア語学研修派遣人数 45名 生徒アンケート肯定率 100%(◎) 国際理解教養講座充実(大阪府大教授講演、青年海外協力隊体験談、貿易ゲーム)(◎) ALT英会話ランチミーティング定着(○) <p>【読書指導強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出数(年間)1030冊(昨年度763冊)(◎)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校施設整備・広報活動充実</p>	<p>(1) 学校施設の改修</p> <p>(2) 学校HP、学校パンフレットを充実させる</p> <p>(3) 学校説明会、体験入学、学校外の説明会、中学校訪問の充実を図る</p>	<p>【具体的な設備改修計画策定】</p> <p>【HP・学校パンフレットの充実】</p> <p>① 学生、保護者向けの内容の充実、更新のスピードアップを図る。</p> <p>② 学校独自で(生徒の力を活用して)学校パンフレットを改訂する。</p> <p>【中学校向け広報活動充実】</p> <p>① 池田、豊中、箕面市内の全中学校への中学校訪問を実施する。</p> <p>② 公開授業を実施する。</p>	<p>【設備計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調、トイレ水回り等の整備 <p>【HPの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> HP週2回以上更新 H26年度は新しい学校パンフレットを活用して学校案内等実施 <p>【中学校向け広報活動充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校訪問は30校以上実施し、学校説明会参加者や本校志望者の増加を図る。 体験入学の中学生向け講座を20講座以上開講する。 	<p>【設備改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を示したうえで体育館トイレ改修、空調は講義室・書道室・美術室・化学実験室に設置1～2年生全教室にプロジェクター設置(○) <p>【HP・学校パンフレットの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> HP週2回以上の更新を維持継続。(◎) 美術部生徒協力によりパンフレット完成(○) <p>【中学生向け広報活動充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福原地区中学校3校新規訪問。一方従来訪問していた中学の意向を受け、中学訪問に変えて学校(土曜講習)見学会を3回実施(合計286名参加)オープンスクール参加者729名と合わせ中学生参加者数大幅増加(◎) 体験入学の中学生向け講座数 24講座(○)